

国際親善総合病院
病院だより

NO. 263
Summer
 2020.7



新型コロナウイルス感染拡大と 国際親善総合病院の対応 …… 2	各種イベントの開始予定のご案内 …… 6
感染防止対策室の取り組み …… 2	産婦人科病棟の取り組み …… 6
在宅における感染対策のポイント …… 3	あなたの街のお医者さん …… 7
COVID-19ワンポイントレクチャー …… 4	メディカルレシピ …… 7
感染防止対策室の紹介 …… 4	れんけいニュース …… 8

病院の理念
 良質な医療の実施
 親切な医療の実施
 信頼される医療の実施

診療費の改定のお知らせ

令和2年4月1日に診療報酬改定が実施されます。これに伴い入院・外来に掛かる窓口でのお支払額が一部変更となります。

診療報酬改定は2年に1度、厚生労働省の告示により改められます。改定されるのは入院や通院で行った治療、検査、薬の処方や医師・看護師が行った手術や処置等の手技、病気やご自身で行う注射等に対する指導などの医療費です。

* 詳細につきましては会計窓口までお問い合わせください。





新型コロナウイルス感染拡大と 国際親善総合病院の対応



病院長

安藤 暢敏

2月のクルーズ船感染に始まり、4か月を経て5月26日に最後まで残った神奈川県緊急事態宣言もようやく解除されました。国際親善総合病院では、日本病院機能評価機構により最上級評価「S」をいただいた感染対策部門が中心となって、当

初より保健所と密な連携をとりながら緊張感を持って対応してまいりました。行政には新型コロナウイルス感染者を症状に応じて3段階の機能的な病院区分で対処するという神奈川県とデルという構想がありましたが、制度が始動したのは5月半ばで、待たなしの臨床の現場では緊急事態宣言発出後の4月中旬よりPCR陽性および疑似患者の受け入れを始めました。当院も行政からの要請を受け重点医療機関協力病院という立ち位置で、病棟内の個室5室を厳重な隔離区域とし、ソフト、ハードを集約しました。同時に発熱外来を設け、クリニックの先生方や患者さんから

のご相談に応じてまいりました。報道されましたように、当初PCR検査を思うようにできず難渋しましたが、現在は独自に検査会社へ依頼できるようになりました。

これまで来院時の体温チェック、マスク着用、面会禁止などのご協力に感謝申し上げますと共に、マスクなどの防護具をご寄贈いただいた地域住民のみなさま、法人の方々に重ねてお礼申し上げます。まだまだ先行き不透明な状況が続き、横浜は特定警戒地域であることを自覚し続けなければなりません。病院スタッフから陽性者を出さぬよう一層気を引き締めてまいります。(5月26日記)

感染防止対策室の取り組み

当院は、泉区を中心とした横浜市内の方、職員およびそのご家族における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の早期発見および療養に努めております。地域住民や地域の開業医の先生方からCOVID-19に関する相談を多く受けており(電話相談747件/4/5月)、疑いの患者さんにつきましては、完全予約制で対応しております。具体的には、病院の入口を別に設け、1人ずつ個室で対応するなど、一般外来患者さんと動線を分け



食堂の配置換えおよび
職員の食事中の体制



患者利用エリアおよび職員利用エリアの環境消毒

て診療を行っております。「コロナかも？」と心配になる症状がありましたら、来院前に必ずお電話でご相談ください。また、慢性疾患にて通院されている患者さんには電話診療と処方箋発行を行っております（電話診療700件／4～5月）。原則症状と、飲んでいるお薬の量が変わらないような方が対象となります。電話受診に関するお問い合わせもご相談ください。

院内の感染対策の一環として、ご来院患者さんおよび付き添いの方、業者の方など院内に入られる方全員



入口の体温チェック

に非接触式体温計を用いて入口で体温測定を実施しています。面会は許可のある方以外はお断りさせていただきますいております。また患者さんの利用エリアと職員の利用エリアは朝夕方に手分けして環境消毒を行っております。加えて、職員は就業前に健康チェックを行い、体調不良があれば速やかに休暇を取るようし、マスクの着用や頻繁な手指衛生、さらには休憩時間もマスク着用しない状況での会話の禁止など、職員間あるいは患者・職員間で感染が広まらないよう徹底した院内感染防止対策を実施します。



家族がコロナかも？と思ったときの、



在宅における感染対策のポイント

- 家族とは別の部屋で過ごしましょう
- 1時間に1～2回程度窓を開けて換気するか、換気扇を常に作動させましょう
- こまめな手洗いや手指消毒を実施しましょう
- 家族内で食器やタオルの共有は避けましょう
- 歯ブラシは分けて管理し、洗面所のコップの共有は避けましょう
- 大皿料理を皆で食べるのではなく個別に小分けにして配膳しましょう
- 別室あるいは時間を分けて食事をとりましょう
- 食器については洗剤と水道水による洗浄でかまいません
- 衣類は洗濯機で洗い、乾燥機があれば十分に乾燥させましょう
- 家庭内でもマスクを着用しましょう
- 共有部分のドアノブや手すりなどは1日2回以上アルコールや薄めた家庭用漂白剤で消毒しましょう
- 感染が疑われる人の入浴は最後にして、入浴後は風呂用洗剤で洗い乾燥させましょう

COVID-19 ワンポイントレクチャー

1. 環境表面にどれだけ存在することができるのか？

道の上では4時間以内、ボール紙の上では24時間以内、ステンレスやプラスチックの上では最大3日間生存できるといわれています（※1）。つまりドアノブやスイッチなどでは3日間ウイルスが生存する可能性がありますので、このような高頻度に接触する部位はこまめに清拭消毒することが重要です。

2. 基本再生産数とは？ どれくらいの感染威力がある？

基本再生産数は1人の感染者が誰も免疫を持たない集団に加わった時、平均して何人に直接感染させるかという人数の事です。インフルエンザでは「1.0-2.0」と言われていることに対し、COVID-19は「2.0-2.5」と、インフルエンザに比べて感染を広げる可能性が高いとわれています（※2）。

3. 無症状の感染者もいると聞いたが、その場合は感染しない？

感染者が排出するウイルス量の研究によれば（※3）、「無症状患者のウイルス量は有症状患者と同程度のため、無症状の患者でも感染性がある（感染させる可能性がある）と指摘されています。つまり「症状がない」＝「感染していない」とは限らないことから、気づかないうちに自身が無症状感染者となって周囲へ感染を広げないためにも日常的にマスクを着用することが重要です。

※1. Aerosol and surface stability of HCoV-19 (SARS-CoV-2) compared to SARS-CoV-1
<https://www.medrxiv.org/content/10.1101/2020.03.09.20033217v2>

※2. WHO Q&A: Similarities and differences -COVID-19 and influenza
https://www.who.int/docs/default-source/coronaviruse/situation-reports/20200306-sitrep-46-covid-19.pdf?sfvrsn=96b04adf_4

※3. SARS-CoV-2 Viral Load in Upper Respiratory Specimens of Infected Patients
 n engl j med 382:12 nejm.org March 19, 2020, The New England Journal of Medicine
<https://www.nejm.org/doi/pdf/10.1056/NEJMc2001737>

感染防止対策室の紹介

当院には、院内外の感染対策を担う部門として、感染防止対策室があります。院内では、院内感染防止対策の立案、実施、評価および職員教育を行っています。院外では行政との連携や地域医療機関との連携、学会発表や講師活動などを行っております。今回は感染防止対策室のメンバーを紹介します。

対策室メンバーのご紹介



飯田 秀夫

感染防止対策室室長

副院長、脳神経外科部長、インフエクシオンコントロールドクター（ICD）、ICTLINKスタッフ会委員長

【室長より】

2020年3月から発熱外来を行なっておりますが、発熱の方はコロナウイルス感染症以外の症状の方も多く来院されます。発熱外来にて診療をしておりますと、やはり日頃から風邪など健康について何でも相談でき、自分の体のことを他の誰より分かってくれている『かかりつけ医（クリニック・診療所など）』を決めていることがとても大事であると痛感します。皆さんがかかりつけ医に相談していたければ、当院医師と検討し、あまり時間がかからず病院内での診察・検査することが可能になります。



中村 麻子

感染防止対策室副室長

看護師長 看護師／助産師（2001／2002年資格取得）、感染症看護専門看護師（2011年資格取得）*

※国内資格取得者：78名（2020年4月1日現在）、神奈川県内8名（第1号の認定）

2011年 東邦大学大学院 医学研究科 感染制御看護学専攻 修了
2015年 アドバンス助産師
2016年 認定看護管理者セカンドレベル修了

2017年 新生児蘇生法（Jコース）インストラクター認定

活動：看護学校非常勤講師、専門看護師実習指導、介護福祉士のための喀痰吸引等研修講師、日総研セミナー講師、近隣医療機関や高齢者施設の感染セミナー等の講師
JICA研究協力 他



田中 梨恵

感染防止対策室主任

看護師（2004年資格取得）、感染管理認定看護師（2013年資格取得）*

※国内資格取得者：2903名（2020年4月1日現在）、神奈川県内170名

2004年 横浜市立大学看護短期大学看護学科 卒業
2013年 北里大学看護キャリア開発・研究センター 感染管理認定看護師コース卒業

中央手術材料室7年、3B病棟（整形・脳外）1年半、感染防止対策室主任（専従）7年

活動：介護福祉士のための喀痰吸引等研修講師、看護補助者研修講師（医療協）、感染管理認定看護師実習指導 他



滝沢 明利

泌尿器科部長、インフェクションコントロールドクター（ICD）、感染制御委員会委員長

日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本内視鏡外科学会技術認定医（泌尿器腹腔鏡）、日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医 他



梅田 清隆

薬剤部部長、医薬品統括責任者、医療情報課課長、感染防止対策室兼任
神奈川県病院薬剤師会 教育研修委員



島崎 信夫

薬剤部部長代理 感染制御専門薬剤師
抗菌薬支援チームリーダー
神奈川県病院薬剤師会 学術情報委員



遠藤 真佐美

臨床検査科主任
細菌検査室担当臨床検査技師、緊急臨床検査士、2級血液学臨床検査士

寄付のお礼

感染対策に必要な不可欠なマスクやエプロンのご寄贈、心のこもった温かいお手紙やメッセージ、誠にありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。
（個人の皆さま、ボーイスカウト横浜第61団、すみれ花の会、NPO法人の皆さま、企業の皆さま）
また、横浜医療センター、横浜市民病院、横浜市健康福祉局、その他多くの方々よりご指導とご協力をいただきましたこと、心より感謝いたします。今後も横浜市西部地域の医療の一端を担うものとして努めてまいりますので引き続きご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

各種イベントの 開始予定のご案内



新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の取り組みとして、各イベント等を中止とさせていただきます。中止または延期のイベント等に関しては、代替日が決定次第お知らせいたします。

開催年月日	内 容	
毎週木曜日	院内パン販売	8月まで中止 9月以降は未定
毎月定期開催	健康懇話会	中 止
2020年6月・10月	しんぜん院外健康教室	中 止
2020年7月25日(土)	第11回キッズセミナー	中 止



産婦人科病棟の 取り組み



色とりどりの七夕飾りに夏の訪れを感じる季節となりました。新型コロナウイルス感染症を巡り不安な日々を送っていらっ

しゃると思えます。2C病棟の感染対策としては、カンファレンスを重ね、情報共有しながらトレーニングを行なっています。また感染対策だけではなく、スタッフ全員が新生児蘇生法(NCPR)Aコースの認定証を取得し、定期的な講習会の開催などによる習熟に努めています。どのような状況でも生まれてくる赤ちゃんとお母さんを守り、安心して出産できるよう、医師、助産師、看護師が力を合わせて取り組んでいます。

横浜市泉区医師会館移転工事



近い将来に大地震・災害が起こることが予想されるため、それに耐えるように各区医師会の改築工事が始まりました。横浜市では中区より始まり、毎年1区ずつ改築工事が行われることとなり、昨年度に泉区の順番がきました。いずみ中央駅の近くで、区役所の北へ100mほどのところで、水道局があった場所です。昨年3月末に水道局の建物が解体されて、さら地となり、10月より建築工事が始まりました。年末に鉄骨の枠が出来上がり、年明けから床の工事、外壁工事、窓枠、硝子が入り、配線工事、空調、天井、壁、エレベーター設置工事、クロス・シート張りと進み、3月末には完成できず、工事は遅れましたが、現在は、間仕切りの工事も終わり、外構工事が終了すれば、建物は6月半ばに完成予定です。東京電力から電気が受電できれば、エレベーター、空調、照明のチェックをして、完成確認検査後に引き渡しされ、家具の搬入、引越しをして移転完了となります。

横浜市泉区医師会 〒245-0012
横浜市泉区中田北1-9-8
TEL: 045-801-2280

管理栄養士の



Recipe No. 18

作り方

- ① 玉葱は1cm幅に切る。南瓜、ピーマン、パプリカは種を取り一口大に切る。茄子、ズッキーニは1cm幅の輪切り、トマトは湯むきをして一口大に切る。
- ② 鍋にオリーブオイル、みじん切りにしたんにんにくを入れ香りがするまで炒める。
- ③ 玉葱、パプリカ、ピーマン、南瓜、茄子、ズッキーニの順に入れて炒める。
- ④ 玉葱が透き通ったら、塩を振りトマトを加えて静かに混ぜ蓋をして10分弱火にかける。一度混ぜ、蓋をして軽く水分が無くなるまで弱火で煮る。お好みでポーチドエッグを添えても美味しいです。

～効率よくビタミンを摂ろう～ ラタトゥイユ

材料(1人前)

- ★南瓜=40g ★茄子=60g ★ズッキーニ=50g
- ★パプリカ(赤・黄)、ピーマン=各1/4個 15g
- ★玉葱=50g ★トマト=80g
- ★にんにく(みじん切り)=小さじ1/2
- ★オリーブオイル=適量 ★塩=少々

栄養価(1人前)

エネルギー	130kcal
蛋白質	2.9g
脂質	0.5g
塩分	0.2g



ビタミンには、身体の健康を維持する働きがあります。体内でほとんど作ることができないため食物から補う必要があります。性質から油脂に溶けやすい脂溶性ビタミンと水に溶けやすい水溶性ビタミンに分けられます。脂溶性ビタミンには、ビタミンA、D、E、Kがあり皮膚、粘膜の保護、身体の老化を防ぐ抗酸化作用があります。油になじみ水に溶けにくいので油脂と一緒にとることで体内への吸収が良くなります。代表的な食品は、緑黄色野菜、魚類、卵、油脂類、ナッツ類です。今回紹介するラタトゥイユに使用した南瓜、ピーマン、トマトにもビタミンA、E、Kが多く含まれます。それぞれのビタミンを一緒に摂ることでより効果を高め、栄養素の吸収が良くなります。健康な身体作りのためにはバランスの良い食事が基本です。ぜひ毎日の食事の中で心がけてみましょう。



管理栄養士
大西 美菜子

地域医療連携室のご案内

●地域医療連携室とは

病院と地域の医療機関、施設などと連携をはかり地域の皆さまが安心してご自身の住み慣れた地域で、継続した治療を受けていただけるようにお手伝いしております。

また地域医療連携室では、それぞれの医療機関が特長を活かし、地域全体で質の高い医療を提供していくための窓口としてお互いに連絡を取り、協力して業務を行っています。地域医療連携室は現在、部長（副院長）1名、室長（看護師）1名と事務6名にて次のような業務を主体に行っております。

【主な業務内容】

- ① 他の医療機関との連絡窓口
- ② FAX診察、FAX検査の



地域医療連携室スタッフ

- ③ 紹介状等の返書管理
- ④ 各種研修、セミナーの開催
／広報誌『病院だより』の発行等の広報活動
- ⑤ 患者さまへの紹介先医療機関のご案内
- ⑥ セカンドオピニオンの窓口
- ⑦ 診療のご案内の作成
- ⑧ 外来担当医表の発送

⑨ 検査、診察のフォローアップ案内

地域の医療機関からの患者さまの紹介にあたり、FAXを利用した診察予約や検査予約を行っています。また、持参された紹介状の管理を行い報告書の作成依頼などの返書管理や定期的なフォローアップが必要な患者さまへの受診案内などを行い、かかりつけ医とのシームレスな関係を構築できるよう日々活動し

●地域とのかけ橋

ております。そのほかに、定期的に研修会やセミナーを開催し、地域への情報配信なども行っております。

当院の地域医療連携室では、近隣の医療機関と医療連携を推進してまいります。皆さまが安心していただける医療体制のもと、ご自身の住み慣れた地域で、継続した治療を受けていただけるよう、円滑で確実な医療連携を通して、地域医療のサービスの向上に努めてまいります。当院にご来院の患者さまがスムーズな受診ができるようにお手伝しております。

地域医療連携部



地域医療連携室
横木 昌子

自己紹介リレー

外来より地域医療連携室に異動して4年目を迎えるところです。患者さんのニーズに寄り添いながら地域の医療機関との連携サービス強化に努めていきたいと思っております。